

広報

2009  
(平成21年)

# とままえ

7

No.575



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち



## まちひとと百景

### 騎馬リレー

6月は運動会のシーズンとなる。  
週末ごとに運動会・体育大会が開催され、弁当づくりから競技参加と、父母も大忙し。  
雨で一日順延となった第63回古丹別中学校体育大会では、男子の騎馬リレーや女子の障害二人三脚リレーで白熱戦が展開された。

- 苫前町議会だよりNo.76…2~5
- ふわっとの新しい指定管理者決まる…6
- とままえバザール~大盛況…7
- 地域社会貢献事業、文芸…8
- 春の大運動会…9
- 健康ばんざい…10
- 国民健康保険ガイド…11
- 国民年金…12
- まなびの情報…13
- 住まいる情報…14~15
- ちびっこギャラリー…16

苫前町  
議会だより  
合併号

### まちの人口

人口/3,755人 (男/1,741人 : 女/1,994人)  
世帯数/1,662世帯 (6月30日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

苫前町議会

2009

議会報発行特別委員会

# 議会だより

# 7

No.76

苫前郡苫前町字旭37番地1 TEL64-2385

委員長	猫島 優
副委員長	西 志
委員	青木 大
委員	渡部 幸
委員	小倉 一
委員	田沢 哲
委員	田沢 志
委員	田沢 收

## 平成21年 第2回定例会

### 一般会計補正額 5,658万円を追加

### 総額32億6,111万円

介護保険特別会計 1,355万円追加 総額3億9,427万円

後期高齢者医療特別会計 16万円追加 総額 5,372万円

平成二十一年第二回定例会は、六月十八日開会され、町長提出の予算四件、条例一件、人事一件、報告二件、承認二件、その他二件、議員提出の意見案三件の合計十五件を原案どおりに可決し、同日閉会した。

#### 補正の主なもの

- 交通安全指導車購入費 二〇二万円 減額
- 衆議院議員総選挙費 五九五万円 追加
- 道北ドクターヘリ施設整備負担金 一五万円 追加
- 個人設置型浄化槽設置整備事業補助金 三二四万円 増額
- 住宅リフォーム促進助成事業補助金 二〇〇万円 増額
- 橋りょう点検業務委託料 三四二万円 増額
- 北留萌消防組合負担金消防施設分 七八万円 増額

#### 議題の主なもの

- 【専決処分の報告と承認】
- 苫前町町税条例の一部改正
- 苫前町国民健康保険税条例の一部改正
- 【繰越明許費繰越計算書】
- 一般会計・簡易水道特別会計
- 【公益法人等への町職員の派遣等に関する条例の一部改正】

【繰越明許費繰越計算書】

- 【財産の無償貸付について】
- 地上デジタルアンテナ設置のため
- 【羽幌町外二町村衛生施設組合規約の変更】
- 広域火葬場に伴う変更
- 【苫前町固定資産評価審査委員の選任同意】
- 字長島 伊藤豊治氏（再任）

### 届け意見!!

### 政府に意見書を提出

「現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育子育て支援予算の大幅増額を求める意見書」

「地域医療確保と自治体病院の責任は大きくなっている。国全体として保育の維持向上を実現するために国家的な最低基準の底上げと財政の後押しが必要である。真に少子化対策を進めるのであれば、政府において子育て支援施策の拡充を強く求める。」

「生活保護の「母子加算」の復活を求める意見書」

「地域医療の中核的存在である自治体病院の安定した運営のための財政支援の予算を大幅増額されるよう要請するものである。」

本年四月に「母子加算」が廃止されたが、母子家庭から生活の



# ここが聞きたい！ 4氏が登壇！

## 一

## 般

## 質

## 問

### 下水道事業の見通しは



猫島議員

に報告のとおり、上平浄化センターの増設工事分を含め、総事業費十九億円の事業計画をもって平成二十年度から十年間にわたる町財政健全化プランに沿って、現在事業を進めている。

町財政健全化プラン策定上、古丹別地区の事業については事業費を削減し、前倒しの事業促進については、今年度の予算編成時点では考えていなかった。

しかし、高齢化が進む中、早期に水洗化を希望する町民もいることも考え、また国の今後の地方に対する政策、地方交付税の推移等も考え、補助事業でも

あるため、国や道とも協議し将来の財政を考えながら慎重に検討したい。

二 この事業は補助事業のため町だけの予算措置で決定されるものでなく、国、道との協議が必要になり、現時点では可能かどうかの判断はできない。

今年度については、当初事業計画どおり一億五千万円の交付決定を受け、実施している状況であり、平成二十二年度の要望ヒヤリングも一億五千万円の事業費が決定している状況である。

三 古丹別地区の完成時の起債は、総事業費十九億円のうち補助金を除いた起債償還額は、十億六千七百万円で最終年から三十年後の平成五十七年度まで苦前地区の償還残額を含めると約二十七億円、そのうち十六億円が地方交付税として財政措置されるが、十億円以上の町費があることを承知願いたい。

また、普及率は平成二十七年の事業完了時に、供用開始される時点で七一・八%を目標としており、これが達成すると判断している。しかし、一〇〇%に近づけることが下水道経営の上で最重要と考え、町の財政状況を考慮しながら今後の検討課題と考えている。

### 鳥獣被害からの 安全安心について



渡部議員

一 鹿の現状認識について。

近年、増え続ける野生の鹿、その生態的特性は年一五〜二〇%の増加率にて四、五年で二倍に増える。色々な禁猟制限ある中でその数が増え、餌を求め北上するのも当たり前の状況となった。また、近年の暖冬により鹿の生息分布も変化し、西部地区と言われる我々のゾーンにも全体数の三五%の状況まで増え続ける鹿を町ではどのように認識されているか伺いたい。

二 猟友会に対する報償費について。

苦前町農協では農業生産期中、鹿による農業被害を阻止するため、地元猟友会に駆除の依頼をしている。その報償費を今年は十万円アップの二十五万円になった。本町では二十年度約二十五万六千円支払われ今年も同額の予算計上となっている。近隣町と比較しても低すぎる報償費に驚くが見直す考えがあるか。

三 ハンターの養成について。

エゾシカの保護管理は個体数調整にかからことからハンターの育成が急務であると思うが。

四 鳥獣被害防止計画を利用した施設整備は。

小平町ではすでに有害鳥獣特措法を受けて鳥獣被害防止計画を策定した。電柵を三年間で全町を網羅する計画である。本町の計画は。

五 ハンターの身分保障は。

罎の駆除、捕獲、追い払いには危険を伴うが生命保障など手当てはしないのか。

六 鹿による交通事故対策は

### 答弁 森町長

一 エゾシカは明治初期の大雪と乱獲により一時は絶滅寸前まで激減したが、その後保護政策や環境の変化などによって分布域を拡大しながら生息数を増加させ、昭和六十年代から道東地方を中心に農林業被害が急激に増加し、深刻な社会問題となっている。

従前より苦前町猟友会に依頼して駆除活動を実施しているが、現状の捕獲頭数では個体数の抑制に届かず、今後とも継続して関係機関、団体とも連携を図りながら有効な対策を検討していきたい。

### 答弁 森町長

一 古丹別地区の下水道事業については、平成十九年九月議会



二 本町の報償費は管内他市町村と比較した場合、猟友会の会員数や駆除活動の推進体制などの違いにより一概に言えない部分もあるがご指摘のとおり小平町や羽幌町と比べると低い金額であると認識している。今後、報償費の見直しを含め検討していきたい。

三 猟友会ははじめ、関係機関・団体等とも協議しながら有効な方策を検討したい。

四 今年中に計画を策定し、必要に応じた施設整備計画を検討したい。

五 自治体のみが加入できる行政協力員団体障害保険に加入の例もあり、今後地元猟友会と協議を進めたい。

六 大きな交通問題の一つと認識している。関係機関と協議して警戒標識、道路進入防止の諸施設の整備を検討したい。

苫前町の環境施策は



西 議員

近年の環境に対する世界的な取り組みや、地球規模での危機感の中、わが町も風力発電を全国に先駆けて取り組み、CO2削減に貢献していると認識する。一方で、住民レベルでは風力発電により地域への愛着などに繋がった部分があるが、実際に環境対策行動などに即、反映されていないという現状だと思う。また、こういった行動をとつたらよいか、行政や各方面からの支援や積極的な方向性をキャッチしにくい状況だ。

風の町苫前町が今、住民とともに環境に対する取り組みを始めることは、今後、有効でかつ、子どもたちや将来を担う世代の基礎となる部分だと認識する。

一歩進んだ環境施策を進めることで、より一層の説得力を備われば、住民の皆さんからも環境に対する行動に理解を得られ、既存の産業の、新分野の創造に繋がることも期待できるのではないかと思う。各種まちづくりの活動のキーワードに『環境』は異口同音で唱えられている。

今後の展開を期待しながら、次の三点について質問する。

一 風力発電を活かし、町ぐるみでエコエネルギーについて考え実感する取り組みはできないか。

二 カーボンオフセットの受け入れ可能な植樹林の準備や交流人口を増やすため、環境意識を軸に既存産業等の新たな展開の後押しをすべく体制を整える方策を考えられないか。

三 未来を担う子どもたちに苦前の自然がいかに多様ですばらしい資源であるかを教え、環境について常に考え、意識を持つよう、地域が一体となったあり方を予算や人員を含めて考える必要性が出てきている。総合的な環境問題を考え取り組むための計画づくりに着手すべきと思うが。

答弁 森 町 長

一 自然エネルギーの有効性など、地域教育機関などと連携を図る。風車工作キット、風車ウォーキング、成人講座などで考え実感する取り組みを進めたい。

二 優良な森林の育成対策として、無立木地への造林や森林機能回復のための事業展開をしているが、カーボンオフセットの考えを活用しながら環境意識を高め森林機能の増進が図られると考える。先進事例を参考にしながら研究していきたい。

三、子どもたちにおいて学社融合事業などを通じて環境問題

を考えたり、風力発電を基盤とした地球温暖化対策に向けた取り組み、下水道整備、魚道整備など自然環境の保全や景観保全に向け多角的に進めていかななくてはならず、地域住民が一体となった環境基本計画などの策定に向け取り組みたい。

本町の観光振興は



田 沢 議員

三 「観光事業者と他産業との連携による地元食材の利用促進」とあるが、取り組み状況はどうなっているのか。

四 「道の駅での町内特産品を地できるシステムの構築」とあるが、システム構築はできているのか。

答弁 森 町 長

本町の雄大で美しい自然景観を有効活用した滞在型観光の振興の他、地域ぐるみの観光地づくりや地域の特性を活かしたイベントの開催などにより、新しい観光資源の開発に努めるとともに、地域ぐるみで観光客をもてなす心を大切にする取り組みが必要と認識している。

一 本町は観光地が点在しており、これを「点」から「線」に結びつけるため、情報発信や観光情報の提供更には商工会と連携した研究を行いながら、訪れた方々の視点に立った魅力的な観光地づくりに取り組んでいきたい。

二 中部3町村がスクラムを組み、札幌や旭川の小中学校を訪問し、誘致活動を進めており、農業や漁業体験、一般観光客も体験できるようなシステムづくりの研究、更には広域的な受入体制づくりに取り組んでいきたい。

本町は観光資源が多数存在しており、それら観光資源を有効的に活用したり、PRするのは行政だけでなく私たち町民の仕事だと思っている。本年度の町政執行方針の中で町長が述べている観光振興について、次の四点について答弁いただきたい。

一 「魅力的な観光地づくりの向上」とあるが、具体的にどのような施策を展開また、取り組みをしているのか。

二 「体験型観光の振興」とあるが、具体的にどのような体験型観光か。

# 委員会レポート

## 臨海地域特別委員会

三 国の交付金事業である「地方の元気再生事業」を活用しながら、一つ目として、特産品販売所の設置及び特産品試作品の作成、食の開発と試験販売。二つ目として、観光情報の発信。三つ目として、国道からの観光施設への誘導など現在、観光協会が主体となり要望書を提出している。他産業団体の施策と連携しながら、特産品開発や観光情報発信に取り組んでいきたい。

四 道の駅における特産品の臨時販売所を設け、六月一日から九月三十日までの期間、関係団体と連携しながら、テントによる販売や車両による販売を展開しようとしている。

### ▽四月二十七日開催

苦前町新日本海地域交流センターに係る指定管理について  
(株)苦前町振興公社より来年三月末日までの継続運営は困難との申出があり、新たな指定管理者を公募することになった。

公募期間は五月一日から六月十日。新指定期間は平成二十一年七月一日から平成二十四年三月三十一日。協定対価として、九、八〇〇万円を想定。

### ▽六月十五日開催

五月十八日、指定管理者に関する公募説明会及び施設見学会を開催。二団体から応募あり。

### ▽六月十八日開催

苦前町公の施設の指定管理者候補者の選定について  
六月十七日の第四回選定会議の結果を受けて、次の団体を指定管理者の候補者として選定。大新東株式会社（東京都）

## 臨時会

### 三月三十日開催

・平成二十一年度(株)苦前町振興公社事業計画及び予算  
・平成二十一年度一般会計補正予算

### 主な補正内容

・繰越明許費補正（翌年度に繰越して使用するもの）  
定額給付金給付事業  
一、六二二万七千円  
二、一億一〇五万一千円  
・財政調整基金積立金

### 四月二十七日開催

・専決処分報告と承認  
・平成二十一年度一般会計補正予算

### 主な補正内容

旭昭和線道路災害測量調査設計業務委託料  
三〇七万七千円 追加

### 五月二十八日開催

・苦前町職員の給与に関する条例等の一部改正  
職員等（特別職・職員・議員）の本年六月に支給する期末手当の額を減額措置

### 主な補正内容

住宅用地購入費（平成十七年度売却用地買戻分）  
九一万三千円 追加

### 六月二十五日開催

・指定管理者の指定について（苦前町新日本海地域交流センター）指定管理者…大新東株式会社（東京都）  
指定期間…平成二十一年七月一日から平成二十四年三月三十一日まで  
・平成二十一年度一般会計補正予算

### 主な補正内容

住宅用地購入費（平成十七年度売却用地買戻分）  
九一万三千円 追加

## 全員協議会

### ▽五月二十八日開催

一、苦前町税条例の一部改正について

二、苦前町国民健康保険条例の一部改正について

三、古丹別地区消防用放送設備の更新について

四、地上デジタル放送中継局施設用地の無償貸付について

五、中部広域火葬場の整備について

六、住宅リフォーム促進助成事業補助金の補正について

七、個人設置型浄化槽整備事業補助金の補正について

八、道北ドクターヘリ導入にかかる経費負担について

苦前町負担額一五万四千円

## 編集後記

緑が一層美しくなり、一年のうち最も過ぎやすい季節を迎えた。

この町にも新しいニュースが流れ、期待がもたれる。そうです。町民に何かと話題にのぼる「ふわっと温泉」の経営者が新しくなりました。苦前町振興公社は、去る三月末で指定管理の契約解除を申し出た。代わりの経営者を探し始めた四月、このたびようやく指定管理者（最優秀提案応募者）が決まり、七月一日より営業の運びとなった。選考の評価は、事業採算と管理運営のバランスがよい。

運営管理に積極的に取り組む姿勢。

ホテル、旅館及び飲食の専門性などが優れているという。利用者サービスの向上に努力するとともに、利用者の声を業務に反映させるとの方針だ。

さて、今後は利用する町民はもとより行政、議会も一貫して、この経営の手腕を見つめたい。

また、幸いなことに従来の振興公社の職員、従業員は新会社に雇用される予定である。職の心配解消である。新しい指定管理者での、良い一年の結果を待ちたい。

（青木 記）

# 七月一日から「大新東(株)」に変更 「とままえ温泉ふわっと」の新たな指定管理者へ

五月一日から六月十日まで公募期間を設けて募集していたとままえ温泉ふわっと(苦前町新日本海地域交流センター)の新たな指定管理者が、このほど議会の議決を経て六月二十六日付で協定の締結が行われた。

これは、従前指定管理者の指定を受けていた(株)苦前町振興公社(社長・森利男町長)から指定管理者解除の申出を受け行ったもので選定会議による①住民の平等な利用の確保に関する評価②施設の効用を最大限に発揮することに對する評価③管理を安定して行う人員及び財政基盤に関する評価④地域住民の雇用及び経済の振興に関する評価の四項目に沿って書類とヒアリングで採点し、決定した。

温泉、宿泊、レストラン等の運営形態については、基本的に従前と変更はなく、発行済みのクーポン券、入浴回数券、年間(半年)パスポートなども引き続き使用できる。

今後、苦前町観光のメイン施設として民間特有の斬新なアイデア等による改革や、町民各位のご協力により賑わいが訪れることが期待されている。

## 新しい指定管理者の概要

指定期間は平成二十一年七月一日から平成二十四年三月三十一日までの二年九ヶ月間。

- ・団体名 大新東株式会社
- ・代表者 代表取締役 玉山雅之
- ・本社住所 東京都調布市
- ・資本金 一億円
- ・主な受託実績

北海道立洞爺少年自然の家、小清水町温浴施設、湧別町宿泊施設しらかば、えりも町給食業務他一括受託、鳥取県日南町ゆきんこ村 四季彩、岡山県久米南町道の駅くめなん など多数



## 高円宮賜杯 学童野球大会開催

六月二十日(土)、二十一日(日)、二十七日(土)の三日間、苦前町野球場と古丹別小学校グラウンドで、高円宮賜杯第二十九回全日本学童北・北海道大会留萌支部大会兼第三十八回全道少年野球大会支部大会が開催された。

開会式は、古丹別中学校吹奏楽部の演奏による入場行進から始まり、苦前ファイターズ主将の川村旬輝君が選手宣誓を行った。

二十日、二十一日の二日間時は時折小雨が降り、絶好の大会日和とはいえなかったが、留萌管内八市町村から十六チームが出場し、北大会への出場権をかけた、父母などが声援する中、攻守に精一杯のプレーを見せていた。

苦前町からは苦前ファイターズと古丹別サンダースの二チームが出場し、ともに初戦を突破し一勝をあげたが二回戦目で惜しくも敗退した。



選手宣誓を行う川村旬輝君

## 火の用心 パークゴルフ大会

六月十四日(日)午前九時から、北留萌消防組合消防署苦前支署と苦前町消防団苦前分団共催による第十二回火の用心パークゴルフ大会が、苦前パークゴルフ場で開催された。

当日はあいにくの雨であったが、雨合羽や長靴などで雨対策をした愛好者二十五名が参加し、雨を含んだコースに悪戦苦闘しながら楽しいひとときを過ごした。

- 大会結果は次のとおり(敬称略)
- 優勝 田中 和子
  - 準優勝 森 とも子
  - 3位 佐藤 関夫
  - 4位 猪股 寿之
  - 5位 佐藤 哲夫
  - 6位 草薙 寛
  - 7位 川村 高



## 火の用心 ゲートボール大会

六月十七日(水)午前九時から、北留萌消防組合消防署苦前支署主催の第二十二回火の用心杯ゲートボール大会が、苦前ゲートボール競技場で開催された。

当日は、五チーム二十七名の選手がブロック別にスコアを競いあった。

- 大会結果は次のとおり(敬称略)
- 優勝 大翔会(得失点差十五、太田市郎、斎藤能正、竹内俊男、福土和江、加藤早智子)
  - 2位 長島(伊藤サチ子、谷友恵、佐武文秋、嶋田トミ子、高橋トシ子)
  - 3位 旭昭クラブ(大矢根輝美、貝野テルエ、村本文子、一関ミヨ、真鍋一安、工藤キミエ、石川二好)



## 「とままえバザール～厳選うまいもん市～」大盛況 苫前商業高校商業部

6月20日(土)午前10時から旧中央スーパー古丹別店で苫前商業高等学校(金濱茂校長)商業部主催の「第1回とままえバザール～厳選うまいもん市～」が行われた。

これは、地元で採れた新鮮な野菜を地域の人に味わってもらうほか、他の地域の特産品を紹介するとともに、このバザールが町内商店街の活性化につながる機会になればと企画したもの。商品の仕入れ・販売の会計処理の実践、接客などもねらいとしている。



商業部で開発、羽幌町の製造業者に依頼した「丹羽さんちの生キャラメル」と苫前産小麦使用の「パン」、ぎりぎり間に合った地元のミニトマトのほか、管内全国の特産品などを取り揃えた。

当日は開店前から大勢の住民が集まり、オープンと同時に150人ほどが訪れ、対面販売のおつりが間に合わなくなり1台のレジに長蛇の列となるなど、ほとんどの商品が30分程度で売り切れた。

バザールは9月まで月1回の計4回行われ、第2回目は7月20日頃行われる予定となっている。



## メロンの定植に挑戦

6月16日(火)、17日(水)学社融合事業の一環として古丹別小学校(岩村直幸校長)3年生13人、苫前小学校(八谷芳博校長)3年生14人が谷田孝さん(字小川)の農園でメロンについての学習をした。

最初に谷田さんからメロンについての基礎知識を学び、次にハウスに入り指導を受けながら1人ずつ苗床にホーラー(定植用の穴を空ける器具)で穴を空け、順番に20センチ程に育ったメロンの苗を、ポットから取り出し定植を行った。定植後は自分の植えたメロンがどのように成長するか観察することになる。



谷田さんから定植の方法を教わる苫前の三年生たち

## 景観保全・環境美化運動行われる

苫前土地改良区

6月20日(土)午前10時から苫前土地改良区(丹羽雅幸理事長)が、改良区施設の景観保全に伴う環境美化運動の一環として、三毛別川西古丹別頭首工右岸側にプランターを設置した。

この日は水泳少年団や町内会など約25人が集まり、時折小雨が降る中、プランターの花植え作業に汗を流した。

参加者たちと記念撮影



## 人権の花運動

6月2日(火)苫前小学校(八谷芳博校長)にて、旭川地方法務局留萌支局と苫前町の共催の人権の花運動が行われた。当日は苫前町人権擁護委員竹橋隆至さん、村田正夫さん、斉藤保幸旭川地方法務局留萌支局長と全校生徒87名が参加し、学年ごとにマリーゴールド、ペチュニアの苗とひまわりの種を植えた。

人権の花運動は、町内のこのほかの全小中学校や高校でも行われた。

プランターに苗を植える生徒たち



## 堀 泰晴さんがふるさと応援寄附金

神奈川県川崎市に在住の堀 泰晴さん(71歳)がこの度、「次世代を担う子供たちの育成に関する事業」のため100万円の寄附を行った。

今回の寄附の動機は、平成21年春の叙勲での受章(瑞宝中綬章)に対して、育ててくれた故郷への感謝の意を少しでも表すことができればとの考えによるもの。

町では平成21年4月1日から、町内外を問わず「苫前町」を愛する多くの方々の参加をいただくために、自分が生まれ育った「ふるさと」に貢献したい、或いは、自分との関わりが深い地域を応援したい、という気持ちを形にする仕組みとして「寄附を通じて地方の自治へ色々な人が参加できる制度(苫前町ふるさと応援寄附条例)」を施行している。

## 苫前町野球場を整備

～苫前建設協会～

5月30日(土)に苫前建設協会が苫前町野球場の整備を行った。

平成19年7月の霧立、カ風の山火事の際にヘリポートとして使用したときに土が飛散していたが、なかなか整備できずにいたもの。当日はロードローラー、ショベルなど重機4台と協会員約30名が約60㎡の土を入れ整地に汗をながした。



## グラウンド整備等資材を寄贈

～株式会社山本組～

このほど(株)山本組(天塩町)からグラウンド整備等資材が寄附され、6月1日(月)に同社の田中社長が役場を訪れ、伊藤教育長へ目録を手渡した。

寄贈された塩化マグネシウム(25kg・15袋)は、苫前小学校のグラウンド整備に使用し、灰カル(20kg・16袋)は、各小中学校へ贈られライン引きなどに使用された。



目録を伊藤教育長へ手渡す田中社長

## 古小のバックネット張り替え

～渡部工業株式会社～

6月19日(金)に渡部工業(株)が古丹別小学校のグラウンドに設置されたバックネット張り替え作業を行った。

新しいバックネットは、網の目が50mmのものを使用し、ボールが挟まりにくい構造となっており、品質も優れている。



## 古丹別小学校グラウンドを整備

～橋場産業株式会社～

6月16日(火)に橋場産業(株)(橋場幸一社長)が古丹別小学校のグラウンド整備を行った。

当日は、20日から開催される少年野球大会に向け、マウンドやホームベース周辺を重点的に土ならしを行い、得点板の設置やバット入れを設置した。



## 「文芸」 苫前町文芸を語る会

(短歌)

激しさを増して屋根打つ雨音が胸の隙間に弾けて流る  
古丹別 木幡とく子

生き方を写す心の舞台には我もヨサコイ踊り始める  
古丹別 大矢根亮子

愛憎に動く心を包み込む生命線をひとりなぞれり  
原罪を探しあぐねてクチナシの花の鼓動を又胸に置く  
札幌市 住吉 美恵

千の風ざわめく夜半を眸覚めては寝返り打つ度鳴るそば枕  
折り鶴を偲ばせてくる幼子の手紙の宛名『みえさま』がいい  
札幌市 横内 弘子

ビルの窓みな夕映えて煌めけり故郷の海の輝きに似し  
蕨草の群生の花見し日よりビルマの堅琴読み出し始む

(俳句)

夕焼けや 寄せる渚の 親子波  
古丹別 桑 風

産声を たしかに聞きし 蟬の殻  
(文責・大矢根)

川 柳  
高年齢者 余命薬で つなぎ止め  
古丹別 運上 吉雄

長い冬 お膳支えた 樽洗う  
苫前 小島 信子

山菜に 我が家の車は 春の宴  
苫前 斎数 範章

花嫁を 迎えて過疎地 活気づき  
苫前 関 範章

譲られた 席に感謝の 老いの腰  
苫前 鎌田 信夫

(文責・鎌田)